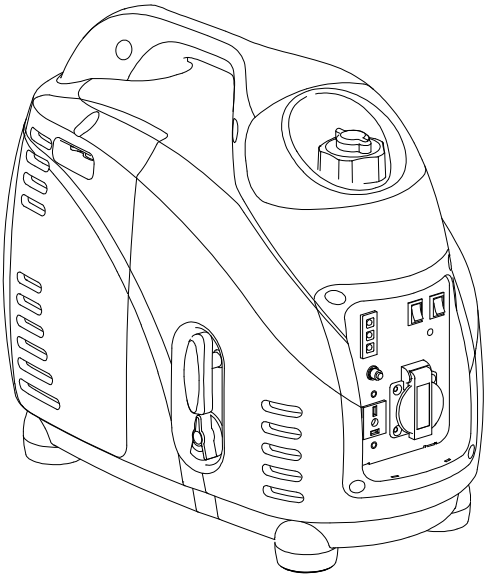
重要 ― **この機材を使用する方は操作する前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。**

GASOLINE INVERTER GENERATOR

USER'S MANUAL

ガソリン　インバーター　発電機　取扱説明書



CONTENTS　目次

1.安全にお使いいただくために……2
2 各部名称と機能……3
3.操作する前の点検……5
4.操作方法……6
5.定期点検……9
6.トラブルシューティング……12
7.保管方法……13
8.仕様……14

！警告！

操作する前にこの取扱説明書をよく読んで理解してください。

1. 安全にお使いいただくために

1）排気ガスは有毒です。

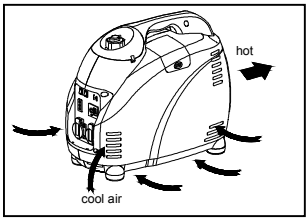
- 絶対に閉鎖された場所で操作を行わないで下さい。短時間で意識不明や死に至ることがあります。通気のよい場所で操作して下さい。

2）燃料は非常に可燃性であり、有毒です。

- 給油の際は、常にエンジンの電源を切って下さい。
- 煙が出ている時や、炎の付近での給油は絶対にしてはいけません。
- 給油の際、エンジンやマフラーに燃料をこぼさないよう気を付けて下さい。
- 万が一、燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、目に入ったりした場合、直ちに医師の診察を受けて下さい。そして、肌や衣服にこぼしてしまった場合は、直ちに石鹸と水で洗い流し、衣服を着替えて下さい。
- 機械を操作する時や運ぶ時は、機械は垂直になっていることを確認して下さい。もし傾いていると、燃料がキャブレターや燃料タンクから漏れる可能性があります。

3）エンジン、マフラーは高温になります。

- 機械は歩行者や子供が触れない場所に置いて下さい。
- 操作中、排気口の近くに可燃性のものを置かないで下さい。
- 機械は建物や他の機器から少なくとも１m（3ft）離れた所でお使い下さい。エンジンがオーバーヒートする可能性があります。
- 埃よけカバーをつけたまま操作しないで下さい。
- キャリーハンドルを持って、運んで下さい。
- 発電機は平坦な場所で使用して下さい。



4）感電防止

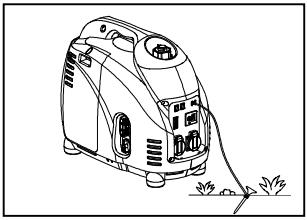
- 雨や雪のところでエンジンをかけないで下さい。
- 濡れた手で機械を触らないで下さい。感電するおそれがあります。

NOTE:

十分な電流容量のアース線を使用して下さい。

Diameter: 0.12mm (0.005 in)/ampere

EX: 10 Ampere –1.2mm (0.055 in)



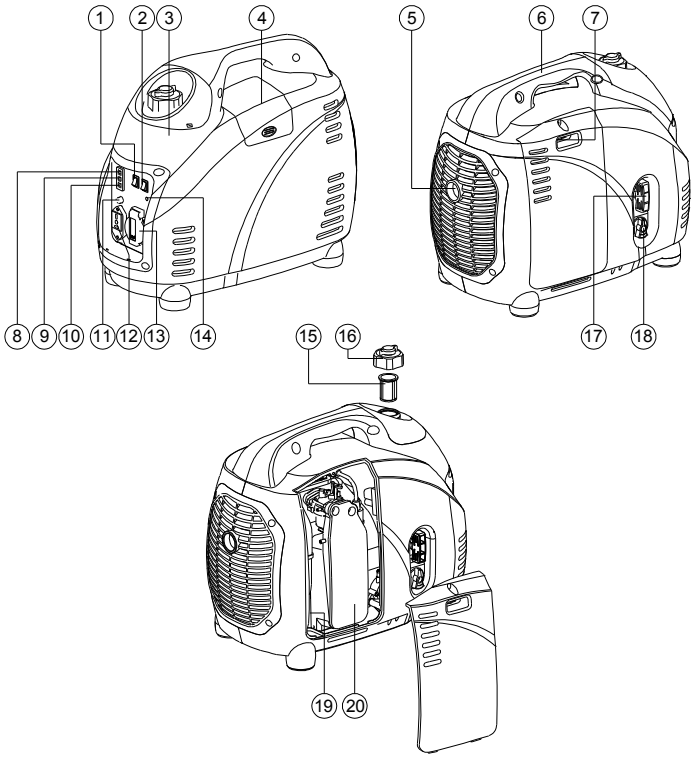
5）接続についての注意

- 電力会社からの電気配線には絶対に接続しないで下さい。
- その他の発電機と並列に接続しないで下さい。

2. 各部名称と機能

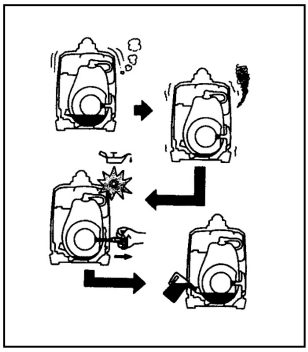
DESCRIPTION

(1) エコノミー制御スイッチ　(2) エンジンスィッチ　(3) 燃料タンク
(4) 点火栓　(5) マフラー　(6) キャリーハンドル
(7) チョークレバー　(8) 交流表示灯　(9) オーバーロード表示灯
(10) オイル警告灯　(11) 直流保護装置　(12) 直流コンセント
(13) 交流コンセント　(14) アース端子　(15) 燃料フィルター
(16) 燃料タンクキャップ　(17) 始動グリップ　(18) 燃料栓
(19) オイル給油口キャップ　(20) エアフィルターカバー



1）オイル警告システム

オイルレベルが下限より下になった時、自動的にエンジンを停止します。オイルを補給しない限りエンジンは再開しません。



2）エンジンスィッチ

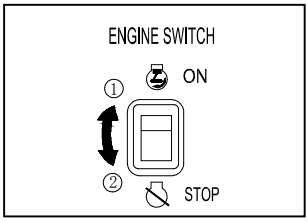
エンジンスィッチは点火システムに作動します。

① “**ON**”(run 動)

点火回路が作動し、エンジンがスタートします。

② “**OFF**”(stop 止)

点火回路が止まり、エンジンが停止します。

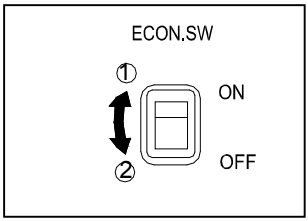


3）エコノミー制御スィッチ

エコノミー制御スィッチが“**ON**”の時、接続負荷に従って、エコノミー制御ユニットがエンジンスピードを制御します。よりよい接続状態にし、ノイズを軽減できます。

4）直流回路保護装置

直流回路保護装置は負荷が一定の出力を超えた時、自動的に停止します。



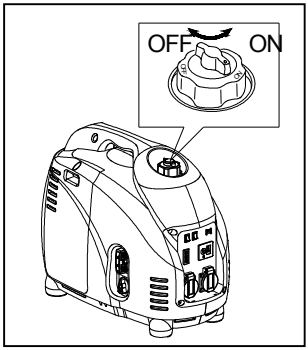
注意:

- 直流回路保護装置が OFF になった場合、定格出力内に負荷を減少させて下さい。

5）燃料タンクキャップのつまみ（通気ノブ）

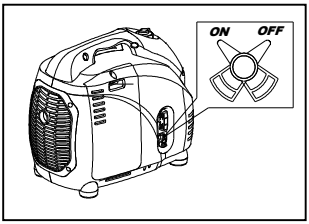
燃料タンクキャップは、燃料の流れを止める為の通気ノブを備えつけています。通気ノブのつまみを反時計回りに１周させます。これでキャブレターに燃料を流れさせ、エンジンを動かします。

エンジンが使用されていない時、燃料が流れるのを止める為に通気ノブを時計回りにしっかりと締めます。



6）燃料栓

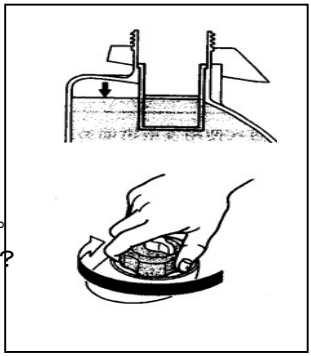
燃料栓はタンクからキャブレターに燃料が供給される時に使用されます。



3. 操作する前の点検

NOTE:

- 機械を初めて使う時は2L 以上の燃料を入れて下さい。
- 毎回、操作前の点検を行って下さい。

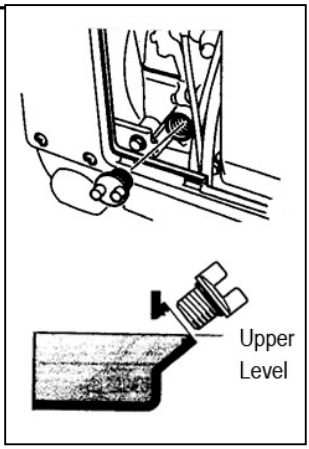


1）エンジン燃料の点検

- タンクに十分な燃料がありますか？
- 少ない場合は無鉛レギュラーガソリンを補給して下さい。
- 燃料フィルター部にフィルタースクリーンはありますか？
- 推奨燃料: 無鉛ガソリン
- タンク容量: 3.6 リットル

警告:

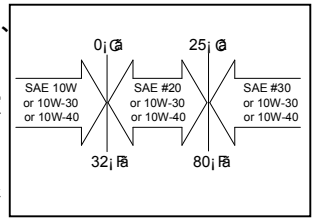
- エンジンの運転中や熱い時は給油をしないで下さい。
- 給油の前に燃料栓を閉めて下さい。
- 埃、泥、水、その他の異物が燃料に入らないよう注意して下さい。
- 燃料フィルターの限界位置を超えないよう給油して下さい。
- 燃料が加熱し膨張した時、溢れる場合があります。
- エンジンを始動する前にこぼれた燃料は拭いて下さい。
- 火気から離れたところで行って下さい。



2）エンジンオイルの点検

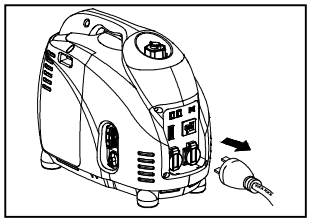
エンジンオイルがオイル給油口の上限まで入っているか確認し、必要ならば補給して下さい。

- オイル給油キャップを外し、エンジンオイルのレベルを確認します。
- オイルレベルが下限より少ない時は、新しいオイルを上限ラインまで補給します。オイルレベルを確認している時は、



オイル給油キャップを回さないで下さい。

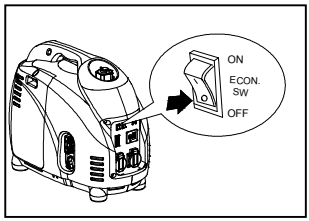
- 汚れている時は、オイルを交換して下さい。
- オイル容量: 0.6 liters
- 推奨エンジンオイル: API Service "SJ"



3）アース

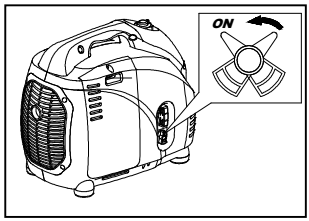
発電機をアースしているか確認して下さい。

4. 操作方法



NOTE:

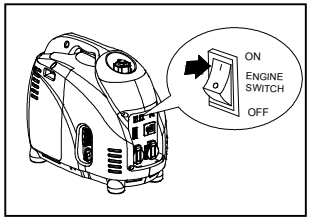
- 発電機は発送時、エンジンオイルは入っておりません。
- エンジンオイルを入れる時、発電機を傾けないで下さい。溢れ出たり、エンジンを傷つけるおそれがあります。



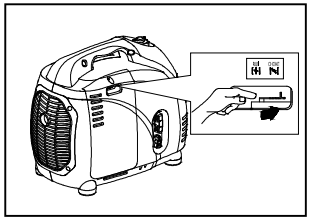
1）エンジン始動

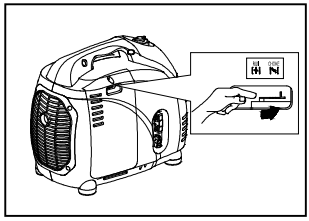
NOTE:

- エンジンを始動させる前に電気器具に接続しないこと。
- エコノミー制御スィッチを"**OFF**"の位置にすること。



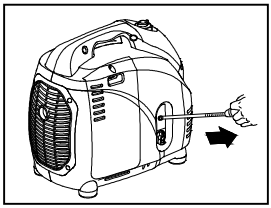
1. 燃料タンク通気ノブを "**ON**" の位置にします。
2. 燃料栓レバーを "**ON**" の位置にします。
3. エンジンスィッチを "**ON**" の位置にします。
4. チョークレバーを "｜🔻｜" の位置にあわせます。エンジンが暖まっている時は不要です。
5. 始動ハンドルをゆっくり重みを感じるところまで引いて下さい。これが"圧縮"点です。ハンドルを元の位置まで戻し、すばやく引きます。ロープを引き抜いてしまわないようにして下さい。始動後、始動ハンドルを手を添えながらゆっくり元の位置に戻して下さい。始動グリップを引く時、キャリーハンドルをしっかり握り発電機が倒れないようにして下さい。
6. エンジンを暖めて下さい。
7. チョークレバーを操作位置に戻して下さい。
8. 数分間、暖気運転を行います。





2）電力を使用

1. 交流アプリケーション



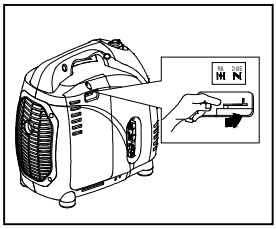
(a) 交流表示灯が適切な電圧であるか確認します。

(b) エコノミー制御スィッチを “ON” の位置にします。

(c) 発電機を接続する前に、電気器具のスィッチを切って下さい。

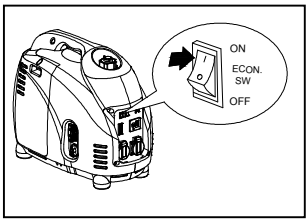
(d) 電気器具のプラグをコンセントに挿入して下さい。

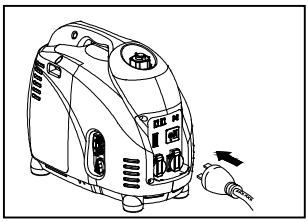
注意:



- プラグを入れる前にすべての電気器具が OFF になっているか確認。
- すべての負荷が規定の出力範囲内であるか確認。
- ソケット負荷電流が規定の電流範囲内であるか確認。
- コンプレッサーや水中用ポンプのような大きな電流を要する電気器具を使う時は、エコノミー制御スィッチは“**OFF**”にしておくこと。

2. オーバーロード表示灯





オーバーロード表示灯は接続された電気器具のオーバーロードを感知した時、インバーター制
御装置が過熱した時､交流出力電圧が上がった時に点灯します。電気ブレーカーは発電機やその他の接続された電気器具を保護するために発電を停止させます。交流表示灯（緑）が消え、オーバーロード表示灯（赤）が点灯します。しかし、エンジンは停止しません。20 秒後、オーバーロード表示灯（赤）が点灯したまま発電が再開、まだ過電状態の場合、オーバーロード表示灯（赤）が消え発電も止まります。オーバーロードを 3 回するとエンジンは自動的に停止します。オーバーロード表示灯（赤）が点灯し発電が停止した時、下記の事項を行って下さい。:

(a) 接続中の電気器具を OFF にし、エンジンを停止して下さい。

(b) 接続される電気器具の合計ワット数を適用範囲内に縮小して下さい。

(c) 冷却空気入口や制御装置付近に妨害するものがないか確認し、あれば取り除いて下さい。

(d) 確認後、エンジンを再始動させて下さい。

注意:

- 発電機の交流出力はエンジンが停止や再始動する時、自動的にリセットされます。
- オーバーロード表示灯はコンプレッサーや水中用ポンプなどの大きな電流を要する機器を使う時、最初に数秒間点灯します。これは、機械の不調ではありません。

3. 直流アプリケーション (option)

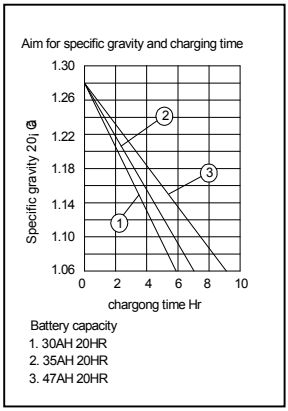
12V バッテリー充電専用のみ使用可能。

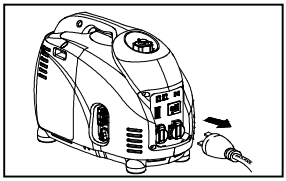
(a) バッテリーの充電方法

- バッテリーに接続されているコードをすべて外します。
- バッテリーの液体注入口のふたを外します。
- 液面が下限に近い場合、上限まで蒸留水を補給します。
- 液体比重計でバッテリー液の比重を測定します。右の表に一致する際に充電時間を計算して下さい。
- 満充電の比重は 1.26～1.28 です。比重は 1 時間おきに測定することをお薦めします。

(b) 充電コードで直流コンセントとバッテリー端子をつなぐことができます。充電コードは (+) と (-) の極性を間違いなく接続して下さい。

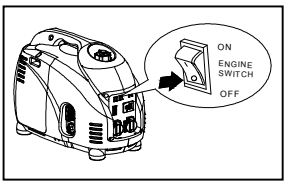
(c) 直流回路保護装置が"**OFF**" になっている場合接続を確認してから"**ON**" にセットします。





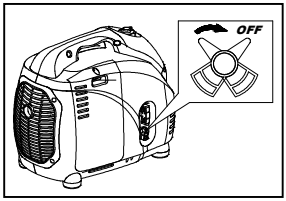
注意:

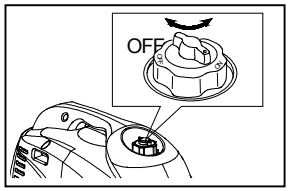
- バッテリーの充電中はエコノミー制御スィッチは OFF にしておきます。



3）エンジンの止め方

1. 電気機器の電源を切ります。
2. エンジンスィッチを"**OFF**" の位置にします。
3. 燃料栓のレバーを"**OFF**" にします。
4. 燃料タンクキャップの通気ノブは止まるところまで時計回りに回して下さい。





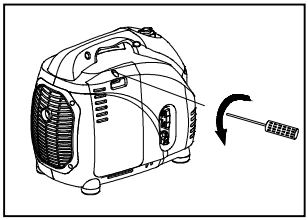
5. 定期点検

1) 点検表

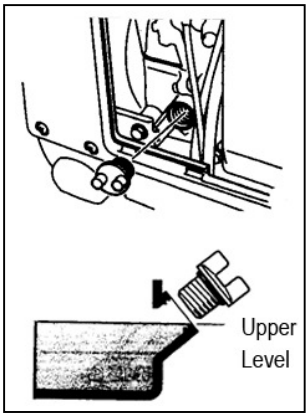
通常点検は正常な作動と操作の上で非常に大切です。

Item	Remarks	Pre-operation check (daily)	Initial 1 months or 20 Hr	Every 3 months or 50Hr	Every 6 months or100Hr	Every 12 months or 300Hr
Spark Plug	Check condition adjust gap and clean. Replace if necessary.			●		
Engine Oil	Check oil level	●				
	Replace		●		●	
Oil filter	Clean oil filter				●	
Air Filter	Clean. Replace if necessary.			●		
Fuel Filter	Clean fuel cock filter. Replace if necessary				●	
Choke	Check choke operation	●				
Valve Clearance	Check and adjust when engine is cold.					●
Fuel Line	Check fuel hose for crack or damage. Replace if necessary.	●				
Exhaust System	Check for leakage. Retighten or replace gasket if necessary	●				
	Check muffler screen. Clean / replace if necessary.					●
Carburetor	Check choke operation	●				
Cooling system	Check fan damage.					●
Starting system	Check recoil starter operation.	●				
Idle speed	Check and adjust engine idle speed					●
Fittings / Fasteners	Check all fittings and fasteners correct if necessary.				●	
Crankcase breather	Check breather hose for cracks or damage. Replace if necessary					●
Generator	Check the pilot light comes on	●				

2）エンジンオイルの交換



1. 機械を平らなところに置きます。数分エンジンを暖めます。エンジンを停止し、燃料栓ノブを"OFF"にします。燃料タンクキャップの通気ノブを時計回りに回します。
2. ねじを緩め、カバーを取り外します。
3. 給油口のふたを外します。
4. エンジンの下にオイル皿を置きます。発電機を傾けてオイルを完全に抜きます。
5. 発電機を平らなところに置きます。
6. 上限までエンジンオイルを補給します。
7. 給油口のふたを取り付けます。
8. カバーを取り付け、ねじで固定します。

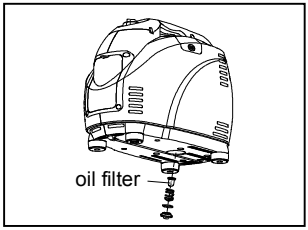


- 推奨エンジンオイル:**(５頁参照)**

API Service "SJ"

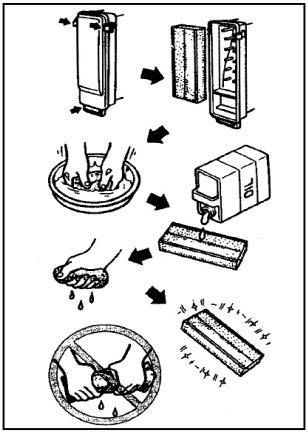
注意:

- クランク室に異物が入らないようにすること。
- エンジンオイルを補給する時、発電機が傾かないようにすること。オイルが漏れたり、エンジンを破損する原因となります。
- 100 時間使用ごとにオイルフィルターを清掃しましょう。



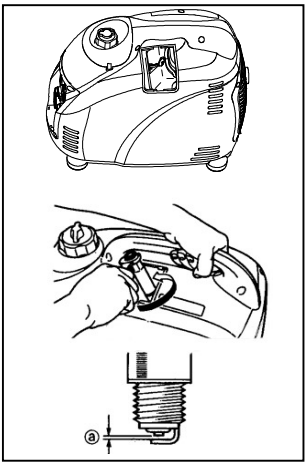
3）エアフィルター

エアクリーナーを適切な状態に保つのは非常に重要です。不適切な取り付け、点検、修理、不適格な成分によって引き起こす汚れは、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。常にきれいにしておきましょう。



1. カバーを取り外します。
2. エアフィルターカバーと部品（ろ過部）取り外します。
3. 部品（ろ過部）を溶剤で洗い、よく乾かします。
4. オイルに浸した後、余分なオイルをしぼります。部品（ろ過部）は濡れていますが、したたるほどではありません。
5. エアフィルターに部品（ろ過部）を取り付けます。

6. カバーを取り付けます。



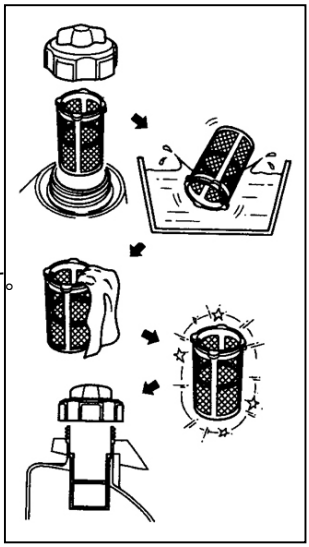
注意:

部品（ろ過部）なしでエンジンを絶対に作動しないで下さい。過度のピストンやシリンダーウェアを生じさせる可能性があります。

4）点火栓の清掃と調整

1. カバーを外します。
2. 変色を確認し、炭素物を取り除きます。
3. 点火栓の型とすき間を確認します。
4. 点火栓を取り付けます。
5. カバーを取り付けます。

標準電極色: 黄褐色
標準点火栓: CR4HSB (NGK)
点火栓すき間: 0.6-0.7 mm (0.024-0.028 in)



5）燃料タンクフィルター

1. 燃料タンクキャップとフィルターを取り外します。
2. 溶剤でフィルターを洗います。破損があれば取り替えます。
3. フィルターを拭き、取り付けます。

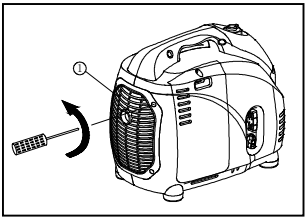
! 警告

- タンクのふたは安全のためにしっかりと締めること。

6）マフラースクリーン

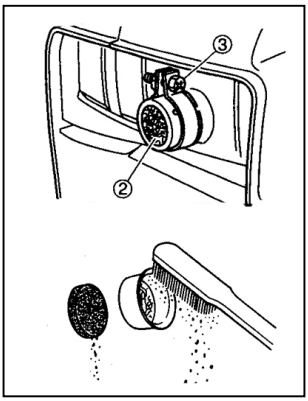
! 警告

- 運転後、エンジンとマフラーは非常に熱くなっています。
- 点検や修理の際、エンジンやマフラーが熱い間は身体、衣類が触れないよう気をつけること。



1. カバーを取り外します。
2. マフラースクリーンを外します。

3. マイナスドライバーでマフラーから点火防止装置を押し上げます。
4. ワイヤーブラシでマフラースクリーンと点火防止装置に付着した炭素堆積物を取り除いて下さい。
5. マフラースクリーンを取り付けます。
6. カバーを取り付けます。



6. トラブルシューティング

1）エンジンが始動しない

1. 燃料システム

   燃料が燃焼室に供給されていない。

- タンクに燃料がない....補給して下さい。
- タンクに燃料がある....燃料タンクキャップの通気ノブを "**ON**"、燃料栓ノブを "**ON**"。
- 燃料ラインが詰まる....清掃して下さい。
- キャブレターが詰まる....清掃して下さい。

2. エンジンオイルシステム

   不足

- オイルレベルが低い....補給して下さい。

3. 電気システム

   点火しない

- 点火栓が炭素で汚れている又は濡れている...炭素を取り除く又はよく乾かす
- 点火装置の欠陥....取扱店に相談して下さい。

4. 圧縮不足

- ピストンとシリンダーが劣化している...取扱店に相談して下さい。

2）発電機が電気を生産しない

交流安全装置が "OFF"...エンジンを止め、再始動。

直流安全装置が "OFF"...直流保護装置をリセット。

7. 保管方法

長期間保管する場合、品質の低下を防止するために手入れが必要となります。

1）燃料を抜き取る

1. 燃料タンクキャップを外し、タンクから燃料を抜いて下さい。
2. カバーを外し、ドレンスクリューを緩めて、キャブレターの燃料を抜きます。

2）エンジン

1. 点火栓を外し、スプーン 1 杯程度の SAE 10W30 or 20W40 モーターオイルを点火栓口に注ぎ、点火栓を元に戻します。
2. 始動グリップで数回エンジンを回転させます。（点火せずに）
3. 始動グリップを重みを感じるまで引きます。
4. 引くのを止めます。
5. 発電機の外側を清掃し、さび止めを塗ります。
6. 乾燥した通気性のよい所で、カバーをかけて保管します。
7. 発電機は必ず水平なところで保管して下さい。

8. 仕様

MODEL			1200i	1500i	1800i
GENERATOR	Type		Inverter Generator		
	AC Voltage	50Hz	100, 230V, 240V		
		60Hz	100, 120V		
	Max. Output		1.2 kVA	1.5 kVA	1.8 kVA
	Rated Output		1.0 kVA	1.2 kVA	1.5 kVA
	Power Factor		1.0		
	DC Output		12V / 4.0A		
ENGINE	Model		XY147F		
	Type		Air-cooled, 4 cycle, OHC, Gasoline Engine		
	Bore × Stroke mm × mm		47 × 41.5		
	Displacement		72 cc		
	Max. Output		2.1KW / 5500rpm		
	Fuel		Regular Automobile Gasoline		
	Fuel tank Capacity		3.6 liters		
	Rated Continuous Operation		4.3 hr	4.3 hr	4.0 hr
	Lubricating oil		SAE 10W30		
	Lubricating oil Capacity		0.60 liter		
	Starting System		Recoil Starter		
	Ignition system		T.C.I.		
	Spark Plug: Type		A7RTC or CR5HSB (NGK)		
DIMENSION	Net dimension L × W × H		492 × 262 × 406		
	Overall dimension L × W × H		525 × 295 × 440		
	Net Weight		18.5 Kg	18.5 Kg	18.5 Kg
	Dry Weight		20.5Kg	20.5Kg	20.5Kg

- **仕様内容は予告なく変更することがあります。**

MODEL			2000i	2500i	3500i
GENERATOR	Type		Inverter Generator		
	AC Voltage	50Hz	100, 230V, 240V		
		60Hz	100, 120V		
	Max. Output		2.0 kVA	2.5 kVA	3.5 kVA
	Rated Output		1.8 kVA	2.2 kVA	3.0 kVA
	Power Factor		1.0		
	DC Output		12V / 8.3A		
ENGINE	Model		XY152F-3		XY157F
	Type		Air-cooled, 4 cycle, OHC, Gasoline Engine		
	Bore × Stroke mm × mm		52.4 × 57.8		57.4 × 57.8
	Displacement		125 cc		149.5 cc
	Max. Output		3.4KW / 5500rpm		4.0KW / 5500rpm
	Fuel		Regular Automobile Gasoline		
	Fuel tank Capacity		5.7 liters		
	Rated Continuous Operation		4.5 hr	4.1 hr	3.1 hr
	Lubricating oil		SAE 10W30		
	Lubricating oil Capacity		0.90 liter		
	Starting System		Recoil Starter		
	Ignition system		T.C.I.		
	Spark Plug: Type		A7RTC or CR5HSB (NGK)		
DIMENSION	Net dimension L × W × H		565 × 320 × 470		
	Overall dimension L × W × H		595 × 355 × 510		
	Net Weight		28 Kg	28 Kg	29 Kg
	Dry Weight		30 Kg	31Kg	32 Kg

- **仕様内容は予告なく変更することがあります。**